

鎮臺日誌

從第壹卷
至第壹卷

特別
14
696
81



48
696
81

慶應四年戊辰六月

關東
鎮臺日誌



少寺
手記



鎮臺日誌第一

自六月朔至四月七

○六月朔御布告書
今般所野總方我自前敷有之致哉此由也
御布告書
御布告書
御布告書

六月

○因一諸道致此有招魂合祭於大倉前
其旨の早且祭主祝部乃諸司事先出殿後不事とて諸席
を定め實世等之敷く夜の刻先枝を修むは畢く久保世等
神聖代居神の心枝をさし後の神籬を造り訖まハ祭主
座をさし靈座の前より御音を招魂の祝詞をのり招魂
のとも畢くは後取部をさしとる
大藏督官次々公卿諸侯方進ぐ殿の北方の上段より
ありの神事總敷ハ一の間の北の端より著し祭式掛り入る
並書記ハ二の間の北方より座を祭主介添ハ向ひて南方より座し
各藩の隊長引合主事三の間の間より群集を樂入ハ一の間より

座し其餘下參謀軍監等之入々南北のついでに列
座せし座座より後祝部一人玉串より入々
轉し座より直靈床より入々奉幣と捧畢
も祝部等入側も順三々借物を轉進と奉幣の儀
と捧畢し祝部等二の間に入側し奉幣の儀
總裁る旨と捧し奉幣の儀
拜敷し直進し靈床の前より高懸平の台より宣
の宣畢し台より傍の臺より居本座より着る畢
大總督官御座と立り宣すの前より再拜拍子
あり宣す三條左大將以下公卿方順次之席と立り再拜去
たり畢し各藩の隊長以下士等二の間進し靈床を
拜し又
大總督官と拜し東拜し畢し本座より
大總督官公卿と退入し總裁の儀も本座よりあり
祝部等座と立り前より順進し奉幣の儀
供物を徹すの儀とあり徹し畢し奉幣の儀
上より後取前とありとあり祭手より退入し奉幣の儀

方々退入し義式畢し後改め各藩隊長並司入全列
座し神酒乾菓の供物を賜し祝部後取之輩此儀之掌
する畢し各藩入退出とあり宣すの前より徹すの
送幣の祝詞述べ此儀畢し總裁退入し祭式掛の人
自餘の諸司とあり退散とあり後祝部等又退散とあり

御祭文之寫

懸卷毛恐支々命旨宣宣
天皇我大命世宣賜賜大總督並道之乃軍方總督
喜我罪子問世宣賜賜大總督並道之乃軍方總督
任志賜比日月乃大御旗降志賜此將士平依志賜隨
皇御軍波傳文子纏身毛棚不知勇美健比山往安州生
止荒山乃嶽岨支坂毛島乃瓜岩根在貝久美海行安水
八重瀨乃逆卷灘毛大船尔真梶繁貫進美尔進釋弓伊向
布者无久武藏野乃原乃薄乃吹風尔廉我如久其免首慶
喜波兼豆恐美畏弘眾伏禮江戸乃大城尔入掃道不知
奴乃五月蜩成駭讀五木望乃乱留加久浮雲乃散乱留加久

東乃國諸乃道此類乃限被施乃每尔心美集此尚
 皇御軍平害以奉良解故其形半聞食豆更平御軍乎班遣志彼乃
 山乃曾故此河乃濶尔追拂討知容豆速氣功成志奴礼亦道之乃
 御軍乃中尔命過留入等看翻聞食豆悔賜比和備給此宜
 賜彼恐支兵士等乃真毛棚不知伊曾志美仕奉志依豆如此
 大糧留業波成志得志物止歡比勇美御座之赫三今將士等乃
 命過留事乎所思食婆古倍楠乃安曾我國乃為尔尔仕奉之勞尔
 並備思保之謀之歡賜比悲賜比御音哭志賜彼以宜
 又宣波恐支臣等乃如此真子拾豆勞支仕奉留事乎朝夕
 夜畫止无入歎賜比悲賜比幸美痛美御座依豆伊加泥
 其魂乃性方乎後輕尔心毛安穩尔思比安息倍留慰米賜比治并
 賜比幸豆此度内尔尔乃吴森止祝定米神羅指榮志備奉
 物波青海原尔佳物波猪乃賣物猪乃秋物大野乃原尔生留
 物波甘菜辛菜毛乃和物毛乃荒物尔至如横山雞取
 備倍此方乃七代田乃片山尔生豆留五百枝榮木平折豆明和
 幣照和幣乎取舟尔字頭乃太五岸止持添豆備賜布大御
 幣帛乎足幣帛乃豐幣帛止請賜利今日乃此御行事乃

末尔招奉留兵士乃幸御魂奇御魂天翔里國翔里
 天皇我御代尔常留尔堅留尔守垣尔奉留尔留尔留
 尔乎始豆此乃大城尔集尔侯御軍乃内尔喪尔久異
 尔久尔安爐爾勤尔勤尔彌猛尔猛與止尔宜尔給布
 尔上尔字宜留

○六月四日御所御書

有鳥次而
 申良侍候

今朝
 柳分存山禮上尔尔尔

鷲鳴道尔

情尔下尔尔尔尔知爾事尔

尔尔尔尔尔

真列白川口尔軍監致尔尔尔

有集上... 因州兵隊

Handwritten text in vertical columns, likely a military report or journal entry, covering the right page of the spread.

Handwritten text in vertical columns, continuing the report or journal entry on the left page.

○六月五日

佐賀表々...

相木村圓照寺... 早...

肥後...

筑前...

相木村...

長州兵隊隨後
中務卿龜田重定
○六月七日
柳川藩
忠實兵隊
免其兵隊
各處

柳川藩
橋本中將
大原重為後
西田大次
岩倉大次

鎮守輔政 免其罪

百川口飛舟形
免其罪
備為之
大監後
三條大將
之海軍
免其罪
百川口別懸者形
免其罪
岩倉大次

鎮守日記第二
自六月七日至同月十三

○六月七日御布告書

今春
御布告書
御布告書
御布告書
御布告書

御布告書
御布告書
御布告書
御布告書
御布告書
御布告書
御布告書
御布告書

御布告書
御布告書
御布告書
御布告書

大垣藩圖書

○同子二日漸沙汰書

河列兵隊

白河 日為應援出陣可致方

稻田隊

但河列兵隊下可為合伴中本

土州廣西書

本月十二日天明白計表諸藩將口賊軍數未散持
傷人金正守山飲湯山湯本道等三戰謝子領軍
潰走諸子追擊賊之宿營村路前之放火作救傷死
傷之人負左之道

戰死
同
重創歸營後死
手負

田中煌之進
馬山石華之
楠瀬六衛
北川源五郎

是處德家未
森本 齋那
園林 虎之
淺田 悅七
田中 茂作

一討取二十四級
生捕三人

但裡街道會津街道等處諸相混以場并并業森

一旗二本
一小銃二十八枝
一大小刀二十九口
一鎗四本

一右之也也也也也
六月

板道運物

今朝 薩列兵隊 大垣藩兵 將堤仙堂衛所之方砲聲相聞

六月十二

漢列

相良津武部

大垣藩由書

此上朝事字白川城四方口に
此城を築きしは深き事あり
此城を築きしは深き事あり
此城を築きしは深き事あり
此城を築きしは深き事あり
此城を築きしは深き事あり
此城を築きしは深き事あり
此城を築きしは深き事あり
此城を築きしは深き事あり
此城を築きしは深き事あり

致事

弟多岐者 會隊之人数は八
弟多岐者 會隊之人数は八
弟多岐者 會隊之人数は八
弟多岐者 會隊之人数は八
弟多岐者 會隊之人数は八
弟多岐者 會隊之人数は八
弟多岐者 會隊之人数は八
弟多岐者 會隊之人数は八
弟多岐者 會隊之人数は八
弟多岐者 會隊之人数は八

致礼御遊覽仕二字法新御物中
致礼御遊覽仕二字法新御物中
致礼御遊覽仕二字法新御物中
致礼御遊覽仕二字法新御物中
致礼御遊覽仕二字法新御物中
致礼御遊覽仕二字法新御物中
致礼御遊覽仕二字法新御物中
致礼御遊覽仕二字法新御物中
致礼御遊覽仕二字法新御物中
致礼御遊覽仕二字法新御物中

右の御遊覽御物中先光御物
右の御遊覽御物中先光御物
右の御遊覽御物中先光御物
右の御遊覽御物中先光御物
右の御遊覽御物中先光御物
右の御遊覽御物中先光御物
右の御遊覽御物中先光御物
右の御遊覽御物中先光御物
右の御遊覽御物中先光御物
右の御遊覽御物中先光御物

黒羽藩由書
此城を築きしは深き事あり
此城を築きしは深き事あり
此城を築きしは深き事あり
此城を築きしは深き事あり
此城を築きしは深き事あり
此城を築きしは深き事あり
此城を築きしは深き事あり
此城を築きしは深き事あり
此城を築きしは深き事あり
此城を築きしは深き事あり

但願之見由り此城を築きしは深き事あり
但願之見由り此城を築きしは深き事あり
但願之見由り此城を築きしは深き事あり
但願之見由り此城を築きしは深き事あり
但願之見由り此城を築きしは深き事あり
但願之見由り此城を築きしは深き事あり
但願之見由り此城を築きしは深き事あり
但願之見由り此城を築きしは深き事あり
但願之見由り此城を築きしは深き事あり
但願之見由り此城を築きしは深き事あり

白の砲一州

一 小鏡の鏡
但此非男也

味方討死する者

討死する者 小室新吉
手負 藤原和次郎
手負 藤原和次郎

重創 藤原和次郎
後 藤原和次郎
澤部 和次郎

右 小室新吉 討死する者
六月廿二日 大國泰宗 討死する者

○ 同十三日 御泊り

今 敵 藤原和次郎 討死する者
六月廿二日 大國泰宗 討死する者

本 藤原和次郎 討死する者
大國泰宗 討死する者

鎮 臺 日記 第三
自 六月十四日 至 六月十九日

○ 六月十四日 御泊り

六月 藤原和次郎 討死する者
六月 藤原和次郎 討死する者

六月 藤原和次郎 討死する者
六月 藤原和次郎 討死する者

六月 藤原和次郎 討死する者
六月 藤原和次郎 討死する者

白川 藤原和次郎 討死する者
大 藤原和次郎 討死する者

三書院致院施者遠昔折弄持一學修之說一而賜之文

○四月十六日到著澤存之文通

此原長廣道村修平中者差志以古書四凡以業仙堂
修之委物山嵐而種人今宜之何下子道修極寒誠若心
任之萬事山中亦在何年修而水天也靈氣永固外鼎
入壽壽者入公能可亦壽得而由仍早也此以在別月

六月

四月十日別列之内 登向云改指揮根

日十七 別列上之山城巾者

日十九 天章改下之者

日廿七 新之陣下之者此四 中列 壽長 西廣 兵隊
清川是操也

日廿四 別列之戰年未半別立發陣

日廿五 別列之戰年未半別立發陣

日廿六 別列之戰年未半別立發陣

日廿七 別列之戰年未半別立發陣

日廿八 別列之戰年未半別立發陣

日廿九 別列之戰年未半別立發陣

日三十 別列之戰年未半別立發陣

日三十一 別列之戰年未半別立發陣

日三十二 別列之戰年未半別立發陣

日三十三 別列之戰年未半別立發陣

日三十四 別列之戰年未半別立發陣

日三十五 別列之戰年未半別立發陣

日三十六 別列之戰年未半別立發陣

日三十七 別列之戰年未半別立發陣

日三十八 別列之戰年未半別立發陣

○日十七 御沙汰書

軍監致 免九年

三雲為一市

大音滝太市

御座居書上河山在吳知縣事

予子廣五... 宗祐... 應接... 守衛

林昌... 守衛... 道... 守衛

日九 霧波 夜西 建夫 夫 岩 翁 八 法 發 城 海 京 之 史

○日廿 御沙汰書

王新源部

御沙汰書 御沙汰書 下賜

濕紙

柳田良房
篠宮權左
中津榮兵衛
園中致孝
方田辰吉
柳田致孝
吉田用吉
松川定三
松川定三
松川定三

三宅現
小林忠
水島重
吉川三
松川三
小谷三
天海三

右之...

○月廿二日...

各處... 柳田... 松川... 吉田... 中津... 園中... 方田... 柳田... 吉田... 松川... 小谷... 天海...

指... 柳田... 松川... 吉田... 中津... 園中... 方田... 柳田... 吉田... 松川... 小谷... 天海...

柳田... 松川... 吉田... 中津... 園中... 方田... 柳田... 吉田... 松川... 小谷... 天海...

後見 柳田...

○同廿四日...

大總... 柳田...

同日... 九面村... 未... 九... 七... 六... 五... 四... 三... 二... 一... 手負... 同... 同... 都... 旗... 財... 高...

右... 六月... 同... 同...

薩州 島津...

薩州 日誌第四

自六月廿四至八月廿九

○六月廿四日大村藩... 十七日... 十八日... 十九日... 二十日... 二十一日... 二十二日... 二十三日... 二十四日... 二十五日... 二十六日... 二十七日... 二十八日... 二十九日... 三十日... 三十一日... 七月... 八月... 九月... 十月... 十一月... 十二月...

手負... 同... 同...

右... 同...

蘇州兵部

真列書張

此。大軍少將歸系三年

○國共方。即海防書

大河內若無元

先敢脫是。此。大軍少將歸系三年

御。此。大軍少將歸系三年

新內滿江師

本孫輩書下賜大書
○國共方。即海防書

蜀川小十部

御。此。大軍少將歸系三年

高。此。大軍少將歸系三年

越。此。大軍少將歸系三年

此。大軍少將歸系三年

六月廿七日

為。此。大軍少將歸系三年

飯田藩書
華落入杖越後因浦村
村前得府了款
利
浦
賊
中
最
討
者
早
可
領
令
士
逃
元
孫
長
在
市
八
外
逃
長
孫
四
人
共
捕
冷

山邊上
和
五
頭
中
大
氣

手負
全孫
色日記

○因廿九日御前書

百川口為應接可也此後
御沙汰之事

肥前兵庫

林昌之由外脫走之賊後五日
長濱九上為私年領上落目真
近海通航中不有之依
召上少早川渡中
御沙汰之事

軍監牧鹿群馬
自真川棚屋天書口王上仕免
郷百川御着
大德者御車設
本街道二子
計去萬百合計
馬羽萬八十八合計
本街道百五平

少者ハ薩摩百五平計
大垣藩一少隊
百川少隊
愉快
山重
六月廿五日

大政御一新大義
御書
六月

同日御沙汰書

真田信康

甲子城代職
作中置少少越後口進擊多
校出共半連戰
先出我後口之虎指於上免為退討
六月

於京都御沙落書

平松夏權久

為敵土慰勞東下被
仰出六月

鎮書月誌第五

自七月朔日連日

七月朔日土雨藩の書
越後表の先自山由作
去月長園の作一隊
作中置少少越後口進擊多
校出共半連戰
先出我後口之虎指於上免為退討
六月

丙寅年十月... 爲... 移... 作... 他... 年... 作... 追... 相...
 丙寅年十月... 爲... 移... 作... 他... 年... 作... 追... 相...
 丙寅年十月... 爲... 移... 作... 他... 年... 作... 追... 相...

鬼而茂雅... 入... 卽... 考... 卽... 考... 卽... 考...
 鬼而茂雅... 入... 卽... 考... 卽... 考... 卽... 考...
 鬼而茂雅... 入... 卽... 考... 卽... 考... 卽... 考...

等々血の西角の中
先不ぬ敷山本

有のるのるのる

六月廿九日

備前藩ヨリ申書

昨女官朝七
散賊兵死傷

深子討免

大抱号

小嶋万三

松平伊賀守家来

岩川半次

白浪
手首

大抱号
大抱号
林

奈傳年三

中務今友
鉄勝

横田左衛門
大和右衛門
大和左衛門
大和右衛門
大和左衛門
大和右衛門
大和左衛門
大和右衛門
大和左衛門
大和右衛門

有...
六月廿五日
同日御沙信書

鏡北河
黒田右...
右井...七

岩田兵隊
長州兵隊
筑前兵隊
筑後兵隊

自...出張
但...
作...
○同日
右...二百人...
築前...
品川...
筑前...
筑後...

崇...
之...
華...
白...
此...
和...
批...
夜...
少...
別...

深...
子...
信書
喜...
池...
中...
幕

古學園回蓬改
 免名事
 下野山回蓬改
 仲分少事

烏井井改

宇津郡宮古藩南書
 此河臨谷村為軍兵大系武村賊伐多入校
 於其無下軍派任去月其早天禁廢入校
 前藩無隊下軍一曰之使將進軍仕門村
 以行胸置大守將之右
 及於賊又右右方中上
 攻擊將花狀及
 直要野
 華富之四中
 殺其色
 壁意子

動操付官万之機而一為廣前派弄正
 收擊守少賊兵收大自官有内揚防賊什
 在野放火有以賊伐於賊是也
 退之有月川層進擊之仕折志及景和
 及山守大系村賊管胸置不疾少勢
 大波為村兵之川揚擊高諸隊の
 官法
 野寺上日大系村兵不候警厚一小隊
 將以日村賊前之出令俱進軍者多
 胸置十間出編及全花少賊兵未
 仕少不傷場并生之少力也
 人校十捕其首級多而捕其長
 上在府表事申報者不若敢其得
 別法

子
 中平第道
 箱尔二守

右五戰爭死傷

戰死

戰死 大夫人

深子 戰死 深子

神璋 深子 戰死 深子

右十六戰爭死傷

七月廿一

宗勳 子 田

○同月廿一... 宗勳 子 田

宗勳 子 田

宗勳 子 田

肥前... 宗勳 子 田

昔戰於折柄山... 又最前開道... 背後山上... 皇朝...

先公... 中... 石...

吉村謙和

六月五日...

吉浦...

以集...

日... 日... 日... 日... 日...

家...

日... 日... 日... 日... 日...

銘...

角田...

二十日... 大總督府
下卷 藤本
河國... 久...

大總督府
下卷 藤本
六月廿九日

鎮重日誌第七

百七月九日 至同十日

○七月九日... 柳河... 豆花... 傷...

長列萬由書
 今西... 長列萬由書...
 ... (dense handwritten text) ...

長列萬由書
 ... (vertical text) ...
 揚井 (揚井) ...

六月廿四日

長列 有也品之先
 ... (vertical text) ...

長列萬由書
 ... (dense handwritten text) ...
 ... (vertical text) ...

石... 六月廿七日
戦士 池田新次郎
板垣退助

新設... 池田新次郎
六月廿七日
戦士 池田新次郎
板垣退助

小銃 小銃 小銃
但... 七月七日
印... 書

自... 朝臣... 御... 御... 御...
御... 御... 御...
御... 御... 御...

長國左京亮京師

○同日十日大國奉治部御感狀

先慈以來百川日進擊... 御感狀... 大總督 為押

其位雄々如...

先慈... 御感狀... 大總督 為押

御感狀... 大總督 為押

七月

御感狀書

山... 侍從 河籍 大夫

御月之上上

萬里小...

河籍大夫御用之上上京中錦旗...

筑前...

御感狀書

桑山...

今殺... 御感狀書

御布告書

林昌之... 御布告書... 七月

御沙汰書

今殺駿河... 德川... 御沙汰書

川... 知行... 御沙汰書

德川... 御布告書

朝令... 御布告書... 御沙汰書

一 朝 王上尊氣知本意是若也

朝 王上尊氣知本意是若也

王上尊氣知本意是若也

王上尊氣知本意是若也

王上尊氣知本意是若也

王上尊氣知本意是若也

王上尊氣知本意是若也

王上尊氣知本意是若也

王上尊氣知本意是若也

王上尊氣知本意是若也

王上尊氣知本意是若也

王上尊氣知本意是若也

王上尊氣知本意是若也

王上尊氣知本意是若也

王上尊氣知本意是若也

王上尊氣知本意是若也

王上尊氣知本意是若也

王上尊氣知本意是若也

王上尊氣知本意是若也

王上尊氣知本意是若也

王上尊氣知本意是若也

王上尊氣知本意是若也

王上尊氣知本意是若也

王上尊氣知本意是若也

王上尊氣知本意是若也

王上尊氣知本意是若也

王上尊氣知本意是若也

王上尊氣知本意是若也

五五山後如何 官軍... 相... 官軍... 上候罪難通幸

相... 官軍... 上候罪難通幸

官軍... 上候罪難通幸

上候罪難通幸

上候罪難通幸

上候罪難通幸

上候罪難通幸

上候罪難通幸

上候罪難通幸

上候罪難通幸

上候罪難通幸

上候罪難通幸

上候罪難通幸

上候罪難通幸

上候罪難通幸

上候罪難通幸

上候罪難通幸

上候罪難通幸

上候罪難通幸

上候罪難通幸

上候罪難通幸

上候罪難通幸

上候罪難通幸

上候罪難通幸

一 傳方... 且入... 走... 少... 也... 指... 刺... 入... 朝... 官... 少... 中... 是... 是...

一 山... 彼... 昭... 養... 吾... 我... 上... 右... 二... 朝... 前... 但...

一 川邊村

目 池 一 門
灌 州 署 一 小 隊
上 西 池 一 小 隊

一 森立坪

長 州 署 一 小 隊
加 州 署 一 小 隊
飯 回 池 一 小 隊

一 旗村

尾 州 半 隊

一 筒場村右福場村

富 山 一 小 隊
但 福場 大 黒 村
同 池 一 門
另 水 涯 居 村

一 浦原村

長 州 署 一 小 隊
松 代 池 一 小 隊
大 田 池 一 小 隊
高 田 池 一 小 隊

一 半藏金

長 州 署 一 小 隊
松 代 池 一 小 隊
同 池 一 門

一 福山村

加 州 署 一 小 隊
同 池 一 小 隊
尾 州 署 一 小 隊
尾 州 署 一 小 隊

一 酒子村

加列 一
中列 二
小隊 一
門 一

一 小山島
一 黒津
一 乙吉村

高島 一
高島 一
高島 一
上西 一
小隊 一

一 大島村

薩列 一
田口 一
小隊 一

有長遠色山園場出塔
山麓與板出雲信等
所要地官軍本在
古



Faint bleed-through text from the reverse side of the page.

